

【エクアドル内政・外交：2014年3月】

1. 内政

(1) 憲法の再選規定改正についての大統領発言

ア 6日、コリア大統領はテレビのインタビューに応じ、再選規定の改正を行うため憲法を変更する場合には、改正(reformas)ではなく修正(enmiendas)となり、この場合、国民投票は必要とせず、国会議席の2/3(92議席)で変更できるという見解を示した(当館注:現国会では与党APの議席数が137議席中100議席を有している)。この場合、憲法でいくつか変更しなければいけない点(当館注:遺伝子組換え製品の流通を禁止する条項の削除など)も含める旨述べた。

イ 7日、コリア大統領は、住民との対話集会の中で、再選規定の改正がなされたとしても2017年の大統領選に再出馬するかどうかは決めてないが、現在も続く銀行、政治化、メディアの汚職が蔓延する15年前の過去に戻るのには避けなければならないと述べた。

また、同大統領は、「2月23日の地方選挙で政治的状況が変化したが、現政権が進めるプロジェクトを着実に進めることが自分の責任であると思っている、先般の地方選挙でコリア大統領が敗北したと言うならば、(野党は)何を恐れる必要があるのか、国民がそれを決める」と述べた。

ウ コリア大統領の見解に対し、野党CREOのパトリシオ・ドノソ議員は、「2008年憲法が国民投票によって承認されたことを考えれば、憲法の修正についても国民投票を通じて実施されるのが常識である」と反対意見を述べた。

(2) 閣僚交代

ア 10日、コリア大統領は、同日付大統領令第253号を以て、3名の閣僚を任命した。

(ア) 辞任した閣僚

- a マリア・ドウアルテ運輸・公共事業大臣
- b ベアトリス・トラ国家政策庁長官
- c クリスチアン・カスティージョ国家行政庁長官

(イ) 新閣僚

- a パオラ・カルバハル運輸・公共事業大臣(前国家交通庁長官)
- b ビビアナ・ボニージャ国家政策庁長官(前グアヤス中央政府代表(Gobernadora), グアヤス市長選与党AP候補)
- c ビニシオ・アルバラード国家行政庁長官(観光大臣としては引き続き在任)

イ コレア大統領は、13日、同日付大統領令第256号を以て、2名の閣僚を任命した。

(ア)辞任した閣僚

a ホセ・セラノ司法・人権・宗務大臣(内務大臣としては引き続き在任)

b ホセ・バカス労働関係大臣

(イ)新閣僚

a レディ・スニガ司法・人権・宗務大臣

b カルロス・カラスコ労働関係大臣

ウ コレア大統領は、31日付大統領令第274号により新たな治安調整大臣を任命した。

(ア)辞任した閣僚

オメロ・アレジャーノ治安調整大臣

(イ)新閣僚

フェルナンド・コルデロ治安調整大臣(前社会保険庁長官, 前国会議長)

(3)ヤチャイ大学の開校式

ア 31日、インバブラ県ウルクキにおいてヤチャイ大学の開校式が行われ、コレア大統領、リバデネイラ国会議長、ロング知識・人的能力調整大臣、ラミレス国家高等教育・科学技術革新庁(SENECIT)長官、エスピノサ国防大臣他多くの閣僚、政府高官、学術関係者など、1,000人以上が出席した。

イ コレア大統領は、「ヤチャイをはじめとする大学のクラスが始まる。今日この日を以てエクアドルにおける大学の歴史が変わるだろう。ヤチャイ学術都市プロジェクトはエクアドルの歴史において最も重要なプロジェクトである」と自身のツイッターに書き込んだ。

ウ ヤチャイ学術都市は、総面積4,489ヘクタール、エクアドル政府の進める生産マトリクス強化に資するイノベーションや学術研究の発展およびその環境整備のために、キトから115キロ(車で片道約3時間)離れたエクアドル北部インバブラ県ウルクキに建設され、今回開校したヤチャイ大学は、その一部を構成する。

2. 外交

(1)ペニャ・ニエト・メキシコ大統領のエクアドル訪問

ア 10日、当地を訪問中のペニャ・ニエト・メキシコ大統領は、コレア大統領と会談を行い、文化、社会開発、教育、貿易、科学技術分野における5つの協定を締結した。

イ 署名後、コレア大統領は経済、文化、社会、政治の分野において、メキシコとの関

係を強化したいと述べ、またパティーニョ外相とホセ・アントニオ・メキシコ外相との間で、移民と治安に関し協力の強化を行うことで一致し、麻薬犯罪等に関与している人物の情報交換等を実施していく旨合意したことを明らかにした。

ウ 一方、ペニャ・ニエト・メキシコ大統領は、二国関係を強化し、また両国の貿易収支を改善させたいとの意思を示した。

エ リバデネイラ貿易大臣は報道陣に対し、「メキシコは他国と自由貿易協定の締結を進めているが、エクアドルは、補完性を重視した部分的関税協定を希望しており、合意に至るまでは難しい部分もある。一方、エクアドルの花、陶器、魚など主要輸出品目に関税がかけられているため、メキシコが他国にも与えている特惠関税をエクアドル製品にも適用されるようにすることが我々の主要な関心事項である。ホルヘ・グラス副大統領が訪墨する予定である5月までに何らかの進展があることを期待している」と述べた。

(2)エルナンデス・ホンジュラス大統領のエクアドル訪問

ア 13日、コリア大統領は、エルナンデス・ホンジュラス大統領と会談し、昨年エクアドル政府が策定した「良き生活」(Buen Vivir)のための国家開発計画をはじめ、公共住宅プログラム、財政、金融、社会保障制度のほか、南南協力の枠組みで政策の立案・実施にかかる経験を共有するメカニズムなど幅広いテーマを話し合った。

イ エルナンデス・ホンジュラス大統領は、「今般の会談が、ラテンアメリカの兄弟である両国の強い絆に結ばれた関係の始まりとなること、また、両国がそれぞれの国民に尊厳をもたらす道をともに歩むことを希望する」旨述べた。

コリア大統領は、「この会談で、「良き生活」のための国家開発計画、巡回閣議、財政、金融など、7年前にコリア政権が発足してから進めてきた「市民革命」の経験をホンジュラス政府と共有した」と述べた。